

- 管 内 上川管内
- 分 類 生活安全 交通安全 災害安全
- 教育課程 教科（科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動 その他
- 校 種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 関係機関と連携し、事故の具体例の提示による指導の充実を図った交通安全教室
- 関係法規の知識の習得や自転車乗車のマナーの徹底など、自転車乗車指導の充実

取組の実際

ねらい

- 事故の具体的な事例を取り上げた交通安全教室を通して、生徒が交通事故への「危険の予知」「危険の回避」「危険への対応」について理解を深め、特に、自転車乗車の際の「義務」と「責任」についての自覚を促す。

内 容

学校が、警察及び交通安全普及に取り組む関係団体と連携した交通安全教室を実施し、生徒に具体的な交通事故の場面を見学させることにより、交通事故の原因と安全な行動の仕方について理解を深めることができるよう、指導計画を工夫した。

【交通安全教室の内容】

項 目	内 容
主 催	<ul style="list-style-type: none"> ・実施高等学校 ・JA共済連合会 ・北海道警察
実施内容	<p>1 交通事故再現スタント</p> <p>(1) 時速40kmの衝突実験</p> <p>(2) 自転車の交通ルール違反</p> <p>(3) 飛び出し自転車とオートバイの事故</p> <p>(4) トラックの内輪差による巻き込み事故</p> <p>(5) 自転車傘さし運転による接触事故</p> <p>(6) 乗用車の死角による事故</p> <p>(7) 左折車と直進自転車との衝突事故</p> <p>2 警察からの概要説明</p> <p>3 自転車交通安全宣言 (生徒代表：生徒会長)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>便利な社会にこそ、危険がたくさん潜んでいることがわかりました。事故を未然に防ぐため、私たち一人ひとりが交通のマナーを再確認し、安全に気を配りながら生活をしていきます。</p> </div>



トラックの巻き込み事故



乗用車の死角による事故

成果と課題

- 交通事故の恐ろしさを目の当たりにすることで、交通安全に対する生徒の意識が高まり、自転車によるスピードの出し過ぎや携帯電話を使用しながらの自転車乗車がなくなり、自転車の乗車マナーの向上が図られた。
- 交通事故の被害者、加害者としてだけでなく、事故の目撃者としての迅速な通報など取るべき行動についても考えさせることで、生徒の事故に対する適切な対応が身に付いた。
- 交通安全教室に地域住民への参加を呼びかけるなど、地域ぐるみで交通安全意識の向上や環境整備等に努めていく必要がある。